



いのち 生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり



青春の1ページ

「9月4日 大東高校 織部祭」



市 Public Relations

報

おんなん

「平和を」の都市宣言のまち 雲南市

2007

10

No.35

- 2-6 平成19年度市政懇談会の意見・質問
- 7 わが家のホープ
- 8-11 雲南ニユース
- 12-13 ふるさとウォッチング
- 14-17 雲南市都市計画の再編
- 18-19 特定健診・特定保健指導が始まります!!
- 20 保健師コーナー ほか
- 21 私たちのまち 雲南市まちづくり基本条例 シリーズの
- 22-32 雲南市からのお知らせ



市民と行政の協働によるまちづくり

平成19年度市政懇談会

意見・質問



5月10日から6月28日まで、市内33会場で平成19年度雲南市市政懇談会を開催しました。

懇談会では、市から市政の状況や財政状況を説明し、みなさんから幅広くご意見、ご提案をいただきました。

ここでは、懇談会へ寄せられたご意見やご提言、質問や回答について、まちづくり施策ごとに紹介します。

(一部抜粋)

Q 神楽や神話が有名な地域なので、それらを中心に、人の感性に響く

地域づくり

ような地域づくりをしていけば、お金をかけなくても、市が発展し、人口増が望めるのではないのでしょうか。

Q 掛台の小学校統合後、廃校の使い方について、体育館、便所を使いたいと思っています。グラウンドも自由に使いたいです。

A その地域でどういう活用をした方が良いか意見をまとめていただき、協議をしてみたいです。協議された内容が実施可能になるよう考えていきます。できるだけ早く、地域の考えをまとめていただきたいと思います。

定住対策

Q 定住対策について、具体的な数値目標、年次計画がありますか。数値目標があれば目標達成のためにどういった取り組みをしていますか。

A 具体的な数値目標はありません。10年後には40,000人を割る



人口推計ですが、総合計画では45,000人の横ばいを目標としています。定住対策の実績としては定住推進員2名を配置して、平成17年度、18年度で市内移動の方も含めて、51世帯、114人の方に定住していただきました。人口増への対応は優先プロジェクトとしてしています。今年も定住推進協議会を発足し、市内の事業所、団体の横断的な取り組みを展開する予定です。都内で雲南市のPR活動として「食と農」をテーマにイベントも行います。将来的にはコミュニティビジネスへの発展も期待できます。

Q 企業誘致で雇用の場を作ったらそちらへ労働力が流れ、地元の企業が人手不足になります。地場産業の育成とどうバランスをとりますか。夜の人口(定住人口)を増やす施策が大切だと思います。

A 夜の人口を増やすには「雇用の場の確保が第一」という声を聞きませんが、企業を誘致しても必ずしも若者は地元では働けません。若者の定住には家庭教育が第一だと思います。家族も一体となって子どもに「雲南市に残ってほしい」と意識づけることが大切です。市民みんなが努力しないと人口増に繋がりません。

防災

Q 自主防災組織についてアドバイスしていただける話があればお願いします。

A 今年度から、「雲南市ブランド化プロジェクト」を進めています。雲南市には様々な魅力があり、それをあらわす「幸運なんです。雲南です。」というロゴを発表しました。すばらしい町であるという情報を発信できるような企画しています。お金がなくてもソフトで訴えていく知恵を、工夫をいたしますので、ご提言をよろしくお願ひします。

Q 6、7年後には三刀屋三次間が開通しますが、インターチェンジがある町は無策であればストロー現象が顕著になります。市総合計画にもありますが、早めにブランド化などの戦略を練ってほしいです。

A 雲南市へ来てもらえるような雲南ブランドの確立が大切です。皆さんの力も借りて、雲南市の魅力を発信していく考えです。

Q 今後の公民館のあり方をどのように考えていますか。

A 自主組織を運営するにあたり拠点施設が必要で、公民館は、社会教育の推進の拠点でしたが、これに加えて今後は、地域活動の拠点としても位置づけることが必要と考えています。



A 自主防災組織と市とが一緒になつて主に避難訓練を行っています。市からの指令を受けて住民がどのような行動するかを協議して対応しています。

行財政

Q 現在の縦割行政では能力のある職員が力が生かされず、自分の仕事を時間内でやればよいという発想では進展はないと思います。提案制度などがあれば職員も給料以上に頑張るといふ意識ができるのではないのでしょうか。

A 本来そうした意識改革することが大事であり、この合併などの機に意識を変えていくべきと考えます。研修等を通じて意識改革を促します。

Q 雲南市政改革大綱に基づいて集積改革プランについて現状が見えてきませんが、実際の進捗状況を具体的に教えてください。

A 補助金の見直しをここ2年間で実施してきています。指定管理者制度についても積極的に進めており、できるものは進めています。行財政改革を断行しなければ雲南市の財政はもたないのです、市民の皆さまにご負担いただくこともあるかと思いますが、ご協力をお願いします。

Q 財政悪化の原因は、合併したときに借金が多くなったためですか。

A 合併までは、6町村それぞれが同規模町村と比べ2倍の借金があり、これが合併により同規模の市と比べ3倍になりました。H16年に新たに借り入れて3倍になったのではなく6町村の合計がそうだったのであり、今後どんどん減らしていけないといけません。

Q 歳出削減とは、具体的にどのようなことをされますか。



Q 地域振興補助金の使い道について、地域にあつた有効な使い方が出来るような制度にしてほしいです。

A 地域振興補助金については、割と緩やかな制度として簡略化しています。限られた財源の中で、事業の有効性なども含め地域委員会で審査されています。

Q 公営住宅居住者に振興会へ参加してもらえませんか。なぜですか。これをどのように思われますか。

A 自治会組織をつくってほしいということはお願いしていますが、自主組織活動への参加を強要することは難しいことです。住みよい地域づくりを進められている自主組織の活動を目にされ、少しずつ活動への理解と参加を促すことが必要かと考えます。また、そういう方々と懇談する機会が必要だと思えますので、もしその機会があれば市からも参加していきたいと思えます。



Q 類似団体と比較して多いのは物件費です。大田市とは14億円、安来市とは8億円の差があります。補助金も40億円にのぼり、大田市の2倍、安来市の3倍以上です。近い将来にはこれも調整していかねばなりません。

Q 公共施設の利用料金について、受益者負担は当然のことと思いますが、減免措置などの考え方や今後についてどう考えていますか。

A 公共施設の使用料金については、統一を図ります。今年の7月から減免の取り扱いを平準化し、市の施策として利用していただく方、公共的な団体については免除なり二分の一減額をします。

Q 指定管理について、わいわいのメリットがありましたか。



教育・文化

Q 学校等の適正規模適正配置検討委員会の状況についてお聞かせください。

A 児童数の減少により、小学校によっては複式学級のところが出てきています。複式学級についてはメリット・デメリットがあります。こうした背景を踏まえ協議を行っています。今年11月には中間の答申、来年11月には答申していただくことになっていきます。検討状況等について情報公開しながら進めていきます。いずれにしても子どもにとってどうあるべきか、という視点を持ち、保護者や地域の方と話しをしていきたいと考えています。

Q 小中学校の統合について考えをお聞かせください。

A 17年度と18年度を比較して4400万円ほど予算を減額することができました。

Q 固定資産税や水道料が3年後どうなりますか。

A 固定資産税率の統一を図ります。最終的に固定資産税率を1・55にする。と現段階で461万円程度増収と試算しています。

Q 水道料金については激変緩和措置により1億1千万円の減収となりますが、経営努力により対応します。

Q 税金の滞納対策はどのように行っていますか。

A H18年度は1億円余り回収しました。職員の研修や県職員を受け入れて徴収能力の向上も行っています。H19年度も努力を続けていきます。



A 児童数も減少しており、今のままでは良いのか、統合が必要なのかについては、保護者や地元の意見も聴きながら十分検討していく必要があります。幼稚園についても同様です。

Q 子どもたちがスポーツを通して学びがこどもたちへ伝わるように、スポーツ少年団の活動の送迎にスクールバスを活用してはどうでしょうか。

A 子どもたちの育成にスポーツの果たす役割は大きいものがあります。スクールバスは基本的に通学用であり、スポーツ少年団の送迎への利用は難しい状況です。

Q 国際交流について英語圏ばかりではなく近場の中国や韓国と交流を深めるべきではないでしょうか。

A まずは東アジアの中でのつきあいが大事になってきますが、具体的には韓国との交流事業や中国との交流も行っています。今後も東アジア圏内の交流が活発になっていくことが予想されるので、ご指摘のとおり、交流を積極的に実施していきます。

環境・景観

Q ポイ捨て禁止条例について、ポイ捨てに罰金2万円とあります。罰金があれば皆に徹底していただけますか。

A ポイ捨て条例もまずお願いをし、指導するといった形です。周知するかどうかですが、ポイ捨て条例、タバコの吸い殻を捨てる等、まず内容を説明します。罰金は悪質なものの最終

Q 市への災害報告は、道路が建設部で農地は産業振興部へ報告するようになっていますが、一緒にすることはできませんか。

A 原則分けていますが、紛らわしい時はどちらかへ報告してもらえば整理します。

広聴・広報

Q 懇談会は地域自主組織に主催させるべきだと思います。この懇談会は、一方的な押し付けの話ばかりです。もっと意見が言える時間を多くしてほしい。

A おしつけで話をしている訳ではありませんが、説明の仕方については今後改善します。懇談会のありかたは、参考にさせていただきます。

農林水産業

Q 雲南市の農業政策、農作物のブランド化について説明してください。

A 雲南市ではブランド化プロジェクトを進めており、雲南市そのものをブランドとして売り込み、農産物もブランド品を作り上げていく考えです。

Q 近い将来、農地環境を誰が守っていくのが不存視される状況で、農業後継者対策を望む声も高く魅力のある農業施策が望まれます。

A 若者が農村部に残ることがいちはん効果的な農業後継者対策と考えますので、定住施策について今後も重点的に取り組んでいきます。

手段です。

Q コミの不法投棄対策に防犯カメラ、看板等の設置、啓発活動等、行政として対処してください。

A ゴミの不法投棄は環境破壊につながりません。雲南市においても後を絶たせません。現在は、地域の皆様と一緒に防止対策、撤去作業に取り組んでいるところです。監視カメラの設置については高額となるので、それも含めて今後の対策は地元の皆様と協議を行いながら対応を進めていきたいと思っています。しかしながら、これといった効果的な対策が無いのが現状であり、廃棄物処理の指導やリサイクル活動などの啓発活動を推進し、不法投棄をさせない環境づくりを進めることが重要であると考えています。



商工業

Q 企業誘致の具体的な振興策をお聞かせください。

A 市内では既に12社が工場の増設や新設を行っており、さらに企業誘致に努力していきます。

観光

Q 雲南市への観光入込客の状況はどうですか。また、映画「うんん」をどのように活用されますか。

A 雲南市への観光入込み客数は、平成17年度で約67万人です。映画の上映を利用し、観光入込み客の拡大を図り、さらにはイターン・Uターンを促進したいと考えています。

健康・医療・福祉

Q 毎年、結核レントゲン健診を受けていましたが、今年は65歳以上が対象となつたのはなぜですか。

A 近年、結核の発病は高齢者に限られるようになりました。よって、結核予防法も改正され結核レントゲン健診の対象が65才以上となりました。それに基つき雲南市も実施しています。

Q 雲南病院のことがよく新聞に出ていますが、現状を教えてください。

A 医師不足が顕著です。研修医制度によって、特に地方は医師を確保しづらい状況にあります。雲南病院だけ努力しても解決しない問題で、今後も国や県への働きかけを行っていきます。同時に、直接大病院の理解を得ることも必要で、今後は大病院とより密接な関係を持つことが必要と考えています。

Q 雲南にスポーツ医学に詳しい人材を雇用してください。

A 市においては医師確保に努力していますが、スポーツ医学についても考慮します。研究所に医師を置いて診察することは困難ですが、スポーツ指導者に対して研修会等を行い、対応していききたいと思っています。

Q 財政計画の今後の課題に「保健医療関係経費の抑制」があげられています。社会的弱者や次代を担う子どもたちのために、必要な施策は講じてください。

10月で満1歳おめでとう

わが家のHOPE



高橋達也さん・由佳さんのお子さん
こうき 倅希ちゃん (三刀屋町古城)
平成18年10月31日生まれ
いたづらが大好きな倅希。只今、お兄ちゃん、お姉ちゃんにもまれ、たくましく成長中!!



谷口新吾さん・亜弓さんのお子さん
だいき 大輝ちゃん (掛合町波多)
平成18年10月25日生まれ
名前の通り大きくなりました!お兄ちゃんとお姉ちゃんに大きくなるぞ~!



桑原克典さん・真由美さんのお子さん
だいが 大河ちゃん (木次町里方)
平成18年10月24日生まれ
ごはんをいっぱい食べて、お姉ちゃん達みたいに大きくなるぞ~!



加藤信也さん・美穂さんのお子さん
あおい 葵ちゃん (大東町下佐世)
平成18年10月2日生まれ
あーちゃん、誕生日おめでとう!ちい姉、はる兄と仲良く、元気に大きくなってね!



舟木洋介さん・裕子さんのお子さん
ゆうせい 悠晟ちゃん (木次町里方)
平成18年10月11日生まれ
いつも笑顔で元気いっぱいのお悠ちゃん。元気でびのび育ってね。



坂川 健さん・宏子さんのお子さん
あおい 葵ちゃん (木次町木次)
平成18年10月2日生まれ
お誕生日おめでとう☆元気いっぱい!笑顔いっぱい!でススス大きくなあれ♪



佐藤 実さん・直美さんのお子さん
たいち 大知ちゃん (加茂町三代)
平成18年10月29日生まれ
1歳おめでとう!大きくなったね☆いっぱい遊んで、元気で真っすぐな子に育ってね♪



小林健次さん・あけみさんのお子さん
あおい 葵ちゃん (木次町西日登)
平成18年10月6日生まれ
葵ちゃん、お誕生日おめでとう!いっぱい食べていっぱい遊んで元気に大きくなってね。



上原康宏さん・幸恵さんのお子さん
しゅう 珠侑ちゃん (大東町上佐世)
平成18年10月28日生まれ
珠侑ちゃん誕生日おめでとう!!いっぱい遊んでたくさん友達作って元気で優しい子になあれ!!



小川貴久さん・直美さんのお子さん
りく 莉空ちゃん (木次町下熊谷)
平成18年10月15日生まれ
♪お誕生日おめでとう♪やんちゃな莉空が大スキだよ♡これから莉空らしく大きくなあれ☆♡



渡部輝雄さん・美紀さんのお子さん
しょうた 翔太ちゃん (大東町田中)
平成18年10月25日生まれ
☆1才のお誕生日おめでとう☆翔太ちゃんのカワイイ笑顔いつも元気をもらってる♡すくすく大きくなってネ!

11月で満1歳 (平成18年11月生まれ) になるお子さんを募集!

写真にコメント(40字程度)を添え、郵便またはE-mailで10月5日(金)までに情報政策課へお送りください。

【問】情報政策課 ☎0854-40-1015
〒699-1392 雲南市木次町木次1013-1
E-mail: jyouseisaku@city.unnan.shimane.jp

※市ホームページにも市報うんなんを掲載します。

Q 財政計画で掲げている「保健医療関係経費の抑制」は医療にかかった人の負担を引き上げ、公費負担を少なくするという意味ではなく、保健推進事業、健康づくり事業などを推進し、市民の皆様が医療にかかることを少なくし、医療費を抑制するという意味です。雲南市では障害者自立支援促進法制定以降は、独自で重度障害者に対する助成の上乗せを行っています。

Q 5年後、10年後を考えると人口減、世帯減に不安を覚えます。地方自治の根幹は、「安心して暮らせる」社会という中で、こつこつ不安を払拭するに、雲南市としての取り組みがありますか。

A 少子化・高齢化問題は大変大きな問題です。「こつこつすればすぐよくなる」といった特効薬が見出せない状況です。国の施策と連携しながら、一緒に検討や努力をしていくしか方法がないという気がします。できることは一生懸命やっていきますので、みなさんと一緒に進めていきたいと思っています。雲南市としては、将来ビジョンをしっかり持つていかなくてはならないと思っています。少子化問題、高齢者対策、中山間地の荒廃問題といったことを総合的に考えた視点が必要だと思っています。

Q 10年くらいの長期的で奇抜なアイデアでどこにも負けない少子化対策・定住施策を考えてください。

A 子育て負担の軽減対策が第一に必要と考えています。少子化対策で成功している国はフランスだそうです。あらゆる面での経済的負担を軽減してきた結果と聞いています。子育てについてアンケートをとった際も経済的負担が一番気になるようです。あれこれの選択の中で、「子育てするなら雲南市」と思われるような、経済的な負担を軽減する施策を検討します。これまでも医療費の負担を軽減する等の施策を行っています。

Q 今後の市民バスの運行についてどのように考えていますか。

A 今までは、県からの補助金を受けていましたが、利用率が20%に満たない場合は補助を受けることができません。その中で市はサービスを下げず、まず経費の削減を図っており、その上で利用率の極端に低い路線については、見直していく考えです。今年度から加茂や吉田のスクールバスと市民バスの統合を行いました。利用率の低いところについては、地区の皆さんと相談しながら今後も見直しを行っていかねばならないと考えています。

Q その他意見として

A すべての年金加入者に対し社会保険事務所から記録が伝えられれば年金問題は解決すると思います。市役所でも、「社会保険事務所に聞きなさい」では

なく、「質問があれば聞いてください」という親切な対応をされるよう要望します。

■情報公開の徹底ということで、いろんな情報が提供されています。2日に一度ホームページを見ています。さらに行政のサービス機能を充実するよう努力してください。

■保育園(の民間委託)について、子どもは市の財産なので、利潤の追求はしないでください。

まとめ

この他にも懇談会へ参加していたいたみなさんからたくさんのご意見やご提言が寄せられました。

すべての掲載はできませんでしたが、寄せられたご意見やご提言、その回答につきましても、市ホームページにも掲載する予定です。ぜひご覧下さい。

市では、みなさんから寄せられたご意見やご提言を新しいいまちづくりに活かしていきます。

懇談会へ参加していただきありがとうございました。

雲南市長の「ラ・ラム」

先月号の本欄でも触れましたが、8月下旬に10人の大学生の皆さんが雲南市に5日間滞在され、「幸運さがし」をしていただきました。今回は、吉田町と掛合町での調査で、その報告会が8月24日に掛合町生涯学習センターで行われました。短い調査期間であったにもかかわらず、若い皆さんの感性を存分に発揮された報告会でした。

発見された「幸運」は、普段私たちが当たり前と思っていたことがほとんどでした。例えば、複数世代家族が多い、食べ物のおすそ分け、まるで虫の博物館、商工会の女性が元気、だんだん、ばんじましたの出雲弁、ごはんが絶品、煮しめが美味しいなどなど。

つまるところ、普段の私たちの生活そのものが、都会の皆さんにとっては懐かしさ、優しさであり、雲南市が誇る魅力、幸運との発表でした。もちろん、厳しい指摘もあり、その代表がせつかく合併したのに隣町の一体感が感じられないとのことでした。

地域の「幸運」に気付き、磨きをかけることは、「幸運なんです。雲南です。」の意識の共有となり、地域への一体化への道と確信します。

“幸運さがし”発表会

第17回永井隆平和賞発表式典開催

博士「生い立ちの地」から恒久平和へのメッセージ

9月9日、三刀屋文化体育館アスバルで「第17回永井隆平和賞発表式典」を開催。平和賞の授賞式を行うとともに、俳優加藤剛さんを招いての特別対談を開き、参加者約800人が「愛と平和」について考え、博士「生い立ちの地」雲南から、恒久平和へのメッセージを発信しました。



「如己愛人」、「平和を」の精神を世界に向け生涯訴え続けた永井博士は、幼少期を雲南市三刀屋町で過ごしました。永井隆平和賞は、博士の意思を継承し、雲南の地から「愛と平和」のメッセージを全世界に訴え続けようとして平成3年度に創設したもので、毎年全国各地からたくさんの作文・小論文が寄せられています。

最優秀賞に輝いた4人が作品を朗読。久野小学校2年生の新田桃子さんが、同校で取り組まれ、長時間のメディア接触を防ぐノーテレビデーを促すとともに電気の節約につながる「取り組みに励み、節約できた電気料金を白血病などの戦争被害で苦しむイラクの子どもたちの薬代として役立てたい」と発表しました。



この日は、永井博士の生誕100年記念事業として、映画「この子を残して」(木下恵介監督作品)で永井博士役を演じた俳優加藤剛さんと平和賞最終選考委員寺脇研さんが「愛と平和」について対談しました。加藤さんは、博士が多感な幼少期を過ごした雲南市を訪れた感想や、映画を通じて感じた博士の生き方や偉大さについて話しました。また、博士の著書「いとし子よ」中に掲載されているエッセイ「鳩と狼」を朗読。最後の一文を読み終えると、涙を流す参加者の姿も見られ、己の如く人を愛した永井博士の言葉の重みを会場にいる誰もがかみ締めているようでした。

第17回 永井隆平和賞入賞者

小学生低学年の部(総数 408点) (敬称略)

賞	氏名	テーマ	都道府県名	学校名及び学年
最優秀賞	新田 桃子	久野小のノーテレビうんどうもやくに立つよ	島根県	雲南市立久野小学校2年
優秀賞	福場 未唯	やさしさのたね	島根県	雲南市立掛合小学校2年
佳作	長見 怜奈	「いのちを大切に！」	広島県	広島市立落合小学校2年
佳作	多々納 智美	友だちの家で命をみつけたよ	島根県	雲南市立三刀屋小学校3年

小学生高学年の部(総数 864点)

賞	氏名	テーマ	都道府県名	学校名及び学年
最優秀賞	長尾 光玲	「平和は自分からやって来ない」	埼玉県	鶴ヶ島市立藤小小学校4年
優秀賞	成沢 自由	兄ちゃんのなみだ	千葉県	印西市立内野小学校4年
佳作	林 結菜	私の家族	島根県	雲南市立大東小学校6年
佳作	長谷川 綾乃	まほう使いのおばあちゃん	愛知県	豊田市立市木小学校5年

中学生の部(総数 991点)

賞	氏名	テーマ	都道府県名	学校名及び学年
最優秀賞	城島 未来	アフリカが教えてくれたこと	東京都	頌栄女子学院中学校3年
優秀賞	伊敷 ひかり	伝えるべきこと	沖縄県	糸満市立三和中学校3年
佳作	大家 綾華	世界の理想	埼玉県	東京学芸大学附属大泉中学校3年
佳作	儀間 実柚	「知ることから」	沖縄県	南風原町立南風原中学校3年

高校生の部(総数 212点)

賞	氏名	テーマ	都道府県名	学校名及び学年
最優秀賞	高橋 昌子	その見えない絆を強めあって	山口県	山口県立宇部高等学校2年
優秀賞	柳原 茉美佳	私達の平和構築	大阪府	大阪教育大学附属高等学校2年
佳作	新垣 美樹	平和への礎	沖縄県	沖縄県立開邦高等学校2年
佳作	万場 幸	身近なところから平和へ	島根県	島根県立三刀屋高等学校2年

成人の部(総数 114点)

賞	氏名	テーマ	都道府県名
最優秀賞		該当者なし	
優秀賞	大矢 哲	平和への感性をもつこと	東京都
佳作	鎌田 俊三	『誓い』	広島県
佳作	大矢 透	感謝して生きること	山口県



新田桃子さん

雲南ニユース

黒田征太郎さんと「平和の旗を作るうー!」

世界の舞台で活躍するイラストレーター黒田征太郎さんとの協同創作を通じ、平和の尊さについて考える催しが、8月26日、三刀屋文化体育館アスバルで行われ、参加した保育園児から大人までの約50人が、本物の芸術作品にふれながら、黒田さんとの創作活動を楽しみました。

同イベントは、雲南市にゆかりの深い永井隆博士の生誕100年を迎える本年度、今一度平和の尊さについて考えるとともに、創作活動を通じて子どもたちに豊かな心を培ってほしいと、心と心を結ぶ文化芸術による創造のまち支援事業実行委員会が主催。黒田さんは、参加者らとともにイラストを描きながら、



日常生活の中に尊い平和がたくさんあることや「難しく考えず、気持ちを素直に表して」と絵を描く楽しさを伝えました。参加者は、黒田さんの温かい指導のもと、平和に対するイメージや思いを表現。太陽、友達、動物、花などをテーマとした作品を完成させました。

「平和を」の都市宣言のまち
永井隆博士
生誕100年
シリーズの

今年、永井隆博士生誕100年の年にあたることから、博士が残した恒久平和と隣人愛のメッセージを振り返り、顕彰していきます。



「ベルギーと日本を繋ぐ『ロザリオの鎖』」
原爆の犠牲となった妻を偲びながら、二人の子どもたちとの生活を描く永井博士の著書『ロザリオの鎖』が、博士が亡くなった翌年の1952年、ベルギーで翻訳出版されました。当時24歳だった詩人マルセル・ピラ氏はこの本に強く心打たれ、その感動を40行の詩「カヤノのためのエレジー」に表しました。中でも彼の脳裏を離れなかったのは「カヤノは泣かぬ子になった」という言葉でした。その後、ピラ氏はベルギーやオランダで行われた平和活動のなかで広くこの詩を紹介しました。

原子爆弾の悲劇から60年余、この詩は音楽となって人々の前に姿を現しました。ベルギーの若い芸術家によって楽曲となった「カヤノのためのエレジー」は、ソプラノが詩を歌い、一部が朗読され、楽器がこれに伴奏し、同時に映像が写されるという複合的な楽曲です。今秋ついに日本公演が行われます。

「カヤノのためのエレジー」三刀屋公演

【日時】10月29日(月)午後3時30分 開場
【会場】三刀屋文化体育館アスバル
※(雲南市)三刀屋公演以外に、東京、大阪、広島、長崎で公演が行われます。

バスに乗って遠くの市内へ

ふるさとのお宝を探す旅



子どもたちに市内の魅力を見せよう、市では、夏休みの間、何度でも市民バス利用可能な「ふるさと雲南キヨロキヨロ探検バスポート」(通称キヨロバス)を発行して、学習・体験活動を支援しています。

雲南ブランド化プロジェクトへの取り組みを開始した本年度は、キヨロバス取得者を対象に、広域路線バスを利用した「ふるさと雲南冒険バスツアー」を企画。7月26日から8月23日の毎週木曜日に、延べ100人以上の子どもたちに市内の様々な魅力を紹介しました。



今回のツアーは、「歩育」という考えから、毎回ウォーキングを取り入れており、この日は最長の4・2キロを歩きました。

8月27日、市役所で雲南市Uターン推進協議会の設立総会が開催されました。同協議会は、団塊の世代を中心とした田舎暮らし気運が高まりつつある状況の中、定住希望者の受け入れ体制の充実と、Uターンの受け入れ事業を行うための市内関係機関及び庁舎内の

交流・定住人口の拡大に向け

雲南市Uターン推進協議会を設立

各部署との連携を図ることを目的としています。今後は雲南市の情報発信や定住希望者への対応はもちろん、国や県が実施するイベントへの参加や雲南ブランド化プロジェクトとの連携により、交流・定住人口の拡大を図っていきます。

雲南市近畿ふるさと会

今後の活動計画を協議



9月2日、ニュー大阪ホテルで、「雲南市近畿ふるさと会」の役員会が行われ、出席した役員により、設立総会の総括や今後のふるさと会としての活動計画が協議されました。雲南市からは、映画「うん、何？」や産業振興への協力などをお願いし了承いただきました。



幹事については2年交替で運営されます。また、旧6町村の会が支部として残り、各支部の活動が継続して行われます。

雲南ニュース

8月24日、掛合公民館で出前授業「地球一受けたい授業inうんなん」が開催され、参加した掛合中学校の生徒ら約30人が、世界の国々の風土や考え方の違いを学びました。

同授業で行われたのは、「国際理解と自己啓発のための「流学ゲーム」」。このゲーム



掛合中学生ら流学ゲームで世界の風土を学ぶ

はロシアやインド、ブラジルなど外国人に扮した参加者が、踊りや宗教、文字などをテーマとする5つのコーナーを回り、世界の多様な文化や価値観を体全体で感じ、自分たちのことを見つめ直すものです。



9月1日から2日間、米国ミネソタ州のセントオラフ大学の学生ら21人が雲南市を訪れ、「日本の食・農業・家族」をテーマに体験学習とホームステイを行いました。



この事業は、早稲田大学からの要請に応え、雲南市国際文化交流協会(黒田直幸会長)が計画したものです。

9月1日は、木次町「食の杜」でJA雲南の高橋雅彦専務による「雲南地域の農業」、栄養士の松浦

米大学生ら雲南市へ

日本の食・農業・家族にふれる



佐代子さんによる「学校給食」の講演を聴きました。2日は、三刀屋町「フレッシュファーム神代」で座学研修や餅つき体験などを行い、吉田町「国民宿舎清風荘」の温泉を楽しんだ後、ホストファミリーと面会。各家庭へと分かれてホームステイを体験しました。

あつという間の2日間でしたが、学生たちは貴重な体験をし、多くの思い出を胸に雲南市を後にしたことでしよう。

8月25日

田舎暮らしの豊かさ おすそわけ

木 次町湯村の槻之屋伝習館で田舎ツーリズムの研修会が行われました。しまね田舎ツーリズムは、田舎暮らしの豊かさを都市住民の方々に「おすそわけ」しようとする活動です。農林水産業や伝統文化、観光との連携を図りながら地域の誇りを大切に、新たなつながり・交流をもたらそうとするものです。

この日は雲南市内外の田舎ツーリズム実践者や田舎ツーリズムに関心のある団体などから約30人が参加。大田市で山村留学を実践されている矢田千里氏が活動状況を報告され、意見交換が行われました。その後、槻之屋振興会女性グループ手作りの郷土料理を食べながらお互いの活動などについて話し合い、交流を深めました。



8月21~25日

「ちち☆ばす」のメンバーが 市内で幸運探し

橋大学や津山高専の学生ら「地域発地球行きバス（愛称『ちち☆ばす』）」のメンバー10人が雲南市を訪れ、吉田町と掛合町を活動拠点に人々との交流や自然体験、ボランティア活動を行いながら、都会で生活する若者の視点で雲南市の魅力を探りました。滞在最終日となる24日、掛合公民館で「幸運さがし」発表会と題した活動報告会を開催。学生らはまず吉田町と掛合町の魅力を発表。地域の強い絆や人の心の豊かさ、癒しではなく刺激を受けるほどの豊かな自然やふるさとの原風景、ストーリー性に富んだ鉄の歴史、新鮮で安価な食材などを紹介しました。

さらに、学生たちは、市民を対象とした市内ホームステイや互いの町の良さを発表しあう他已紹介サミットを行うことで、市民同士が市の魅力を再確認し、6町間の融和を図る「近くにきたいプロジェクト」や、市外の若者たちと協同で行う「幸運マップの作成」といった地域活性化策を提案してくれました。

発表後、参加した市民からも「市民自らが魅力を発信できるホームステイのアイデアは、とても参考になった」「市民としても、できることから少しずつ取り組みを進め、市の一体感の醸成に努めたい」といった感想や意見が出されました。



8月25日

雲南市交流 盆踊り大会

加 茂町の赤川だんだん広場で雲南市交流盆踊り大会が開催され、各町の盆踊り保存会の会員らが盆踊りを通じて交流を深めました。

合併後の市民の交流と親睦を深めるとともに、文化伝承活動による地域おこしを目的に、雲南市盆踊り保存会連絡協議会が主催する大会で、今回が2回目です。

この日は、市内から盆踊りの伝承・保存活動に取り組む5団体が参加。黄色や緑色など揃いの浴衣を身にまとった各団体が「古代寺踊り」「関の五本松音頭」などの踊りを披露しました。最後は、参加者全員による「総踊り」。参加団体のほか、愛好家や地元住民らも加わり、地域を越えた交流の輪を広げました。



8月25日

佐世公民館にAEDを設置

佐 世地区福祉委員会は、地域活動中に体調異変を起こし心肺停止状態に陥った際の救命対策としてAED（自動体外式除細動器）を購入し、佐世公民館の玄関横に設置しました。

AEDは、心臓突然死の原因となる心臓の心室細動（心臓がブルブルと細かくふるえる）が発生した際に、電気ショックを与えて心臓の動きを取り戻すための機器で、平成16年7月から一般の市民でも使えるようになりました。

この日は、佐世地区体協と佐世地区福祉委員会の主催により雲南消防署から講師を招いて普通救命講習会が開催されました。自治会や体協の関係者など約60人が参加し、心肺蘇生法やAEDの使用法などについて熱心に受講しました。

佐世公民館は佐世小学校と隣接し、年間を通していろいろな活動が行われており、今後は万が一に備えることができます。



9月4~5日

異文化の草の根交流

島 根大学の留学生ら10人が木次町を訪れ、地元の中学生や高齢者グループと交流しました（木次町国際交流協会の主催）。

初日に訪れた木次中学校では、団子づくり、書道、出雲弁カルタ取りに挑戦しました。団子づくりでは、中学生と一緒に調理実習。日本の月見の風習が紹介され、満月の中でウサギが餅をついているように見えると聞いた留学生は、母国で言い伝えられる見え方との違いに驚いていました。

2日目の午後は、高齢者グループ「ふだんの歌の会」と童謡「さくら」や「ふるさと」を歌い、盆踊りを踊りました。見よう見まねで踊る留学生に、周りから「うまい、うまい」と声があがり、大いに盛り上がりました。

参加した留学生の一人は「母国にはない珍しいものをたくさん体験できて良かった」と、充実した2日間を振り返っていました。



9月8日

オロチ伝説漂う 夕刻の斐伊川で

ヤ マタノオロチ伝説が残る斐伊川岸を舞台に「斐伊川夕刻篝（かがり）火舞」が開かれ、「大蛇退治」の舞が訪れた約千人の観客を魅了しました。

深野神楽保存会などを中心とした実行委員会が主催したもので、深野神楽子ども教室（吉田町）、大土地神楽保存会（出雲市）、石見神楽亀山社中（浜田市）、深野神楽保存会（吉田町）の4団体が公演。日ごろから神楽人としての自覚を持って伝承活動に励み、アメリカ、イギリスなどでの海外公演も経験するなど、実力のある各団体が「大蛇退治」などの演目を迫力たっぷり披露しました。

観客の一人が「オロチ伝説漂う斐伊川をバックに舞われる神楽はとても趣がある」と話したように、斐伊川を背景に篝火に照らされるながら舞われるすばらしい神楽に惜しい拍手が送られていました。



雲南市都市計画の再編

1. 都市計画区域の指定

都市計画区域を指定することによって、健全かつ合理的な土地利用の実現や、計画的なまちづくりの推進が図られるなどの利点があります。

雲南市では現在都市計画区域が4箇所指定されておりますが、今回の再編により一つの都市計画区域に見直します。この見直しによって新たに都市計画区域として指定される地区があります。

	現行区域 (ha)	編入区域 (ha)	除外区域 (ha)	区域案 (ha)
大東都市計画区域	5, 188		2, 175	3, 013
加茂都市計画区域	200	1, 013		1, 213
木次都市計画区域	943	269		1, 212
三刀屋都市計画区域	681	11	111	581
雲南都市計画区域	7, 012	1, 293	2, 286	6, 019

次ページの図をご覧ください。

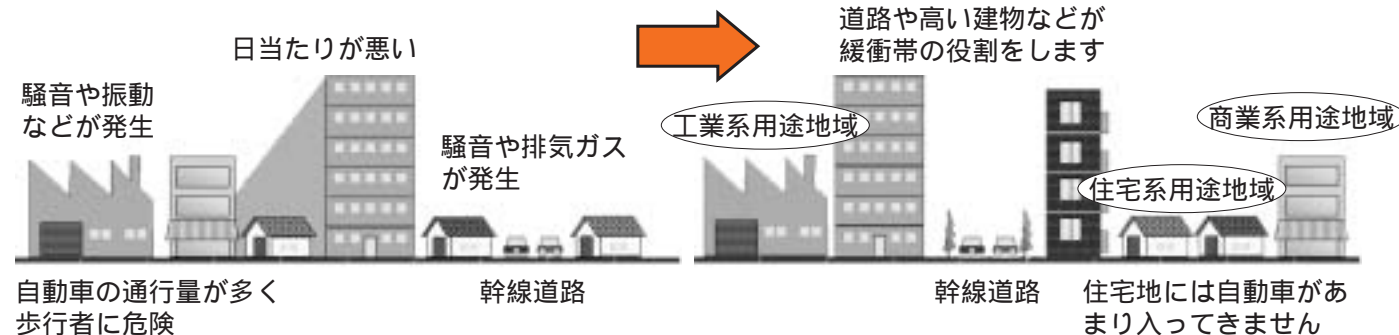
2. 用途地域見直し

用途地域の指定は、機能的な都市形成や快適な都市生活を実現していくために、土地利用の計画をたて、適正な規制によって開発行為や建築行為を計画的に誘導します。

建物用途の混在の防止や効率的な土地利用の推進によって、良好な市街地環境の維持が図られます。

雲南市では、大東地域と木次地域において用途地域が指定されています。加茂地域及び三刀屋地域では用途指定がされていませんが、合併に伴い一体的なまちの整備・開発及び保全が望まれることから、一定のルールに基づき各地域の用途を指定いたします。

《用途が混在していると》



雲南市は合併前のそれぞれのまちで都市計画が定められていましたが、合併したことで一つのまちとして一体的に整備・開発及び保全を行うことが望ましいことから、平成20年度を目途に都市計画を再編します。

都市計画では、建物、公共施設、そして水や緑などを調和させ、住みやすいまちをつくるために、土地のあり方や建物の建て方のルール、道路や公園などまちづくりに必要な多くのことがらを定めます。

今回の再編では主に次の3点について検討しています。

3. 都市計画道路の見直し

雲南市では4地区で都市計画道路が38路線計画決定されていますが、長期未着手道路について原因を整理し、廃止や変更等の見直しを行います。

《都市計画説明会の開催について》

雲南市では、都市計画再編に関する説明会を下記のとおり開催いたします。なお、会場は対象地区ごとに地区割りをさせていただきますが、都合で対象地区以外の会場に出席されてもかまいません。また、対象地区以外の方も積極的にご参加下さい。

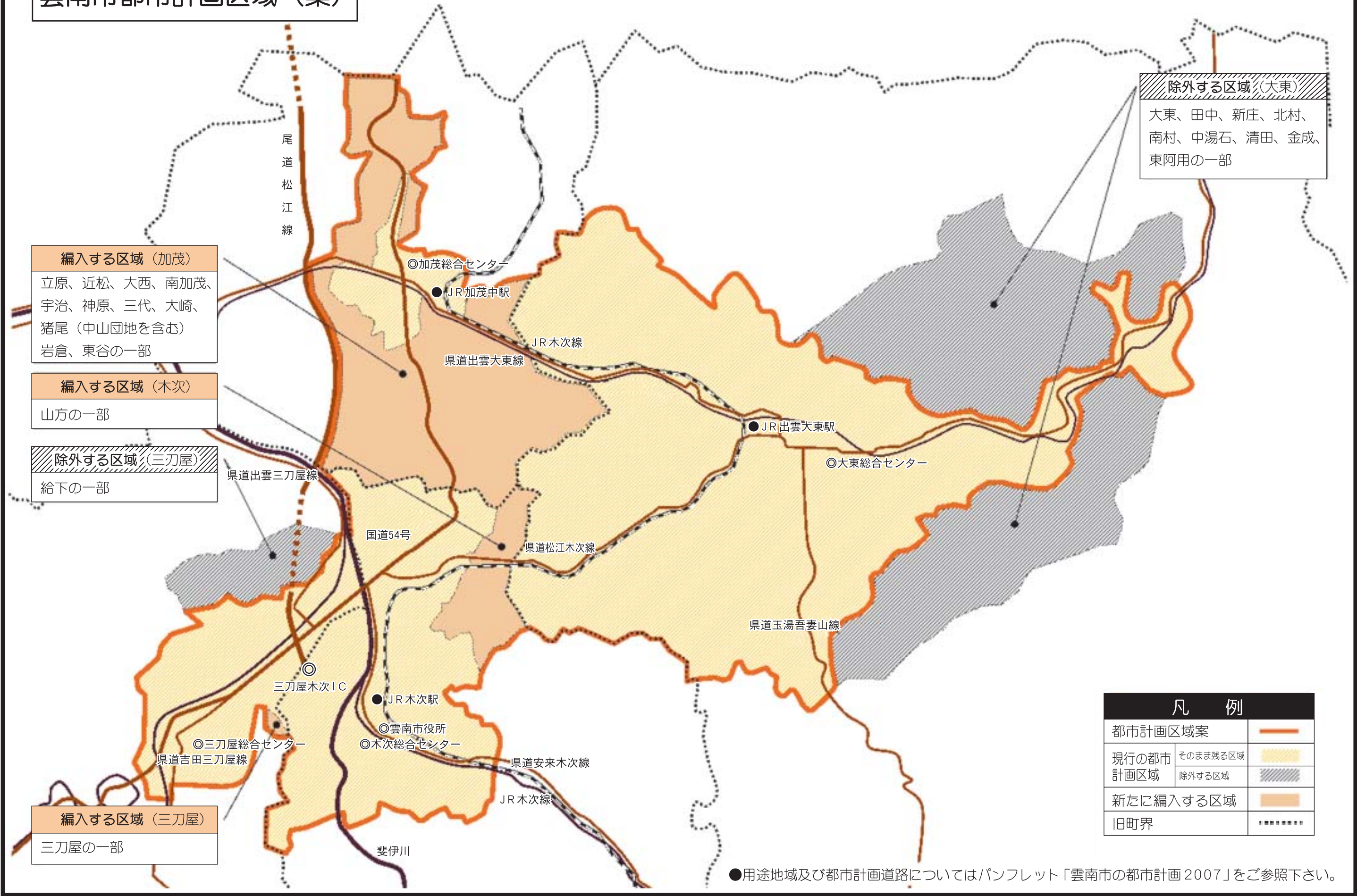
説明会日程表 (各会場とも午後7時30分から開催いたします。)

町	対象地区	開催日	会場
大東	全域	10月16日(火)	大東地域交流センター
加茂	連坦地・中村下・星野・雲並団地・宇治北・宇治上・宇治東・神原東・神原西・松の前	10月9日(火)	総合保健福祉センター かもてらす
	立原・近松・南大西・北大西	10月15日(月)	
	南加茂東・南加茂西・飯の木・高見	10月22日(月)	
	中山団地・東谷北・東谷々・東谷南	10月25日(木)	
	才明寺・大崎・猪尾・岩倉	10月29日(月)	
木次	山方地区(浜谷・北側・上口・浜が丘)	10月10日(水)	斐伊公民館
	下熊谷地区	10月12日(金)	下熊谷サブセンター
	駅前地区	10月17日(水)	チェリヴァホール
	八日市地区	10月23日(火)	八日市サブセンター
三刀屋	三刀屋地区	10月11日(木)	三刀屋公民館
	一宮地区	10月18日(木)	一宮転作センター

都市計画に関するお問い合わせは

都市建築課 ☎0854-40-1064までお願いします。

雲南市都市計画区域（案）



編入する区域（加茂）
 立原、近松、大西、南加茂、
 宇治、神原、三代、大崎、
 猪尾（中山団地を含む）
 岩倉、東谷の一部

編入する区域（木次）
 山方の一部

除外する区域（三刀屋）
 給下の一部

編入する区域（三刀屋）
 三刀屋の一部

除外する区域（大東）
 大東、田中、新庄、北村、
 南村、中湯石、清田、金成、
 東阿用の一部

凡 例	
都市計画区域案	—
現行の都市計画区域	そのまま残る区域
	除外する区域
新たに編入する区域	—
旧町界

●用途地域及び都市計画道路についてはパンフレット「雲南市の都市計画 2007」をご参照下さい。

～生活習慣病を予防しましょう～ 平成20年4月から、医療制度改革に伴う 特定健診・特定保健指導が始まります!!

平成20年4月から、国保や健保組合などの各医療保険者による、40歳～74歳の被保険者・被扶養者を対象とする内臓脂肪型肥満や生活習慣病に対する特定健診・特定保健指導が始まります。

特定健診・特定保健指導とは...

特定健診とは、メタボリックシンドロームに着目した健診項目と、日頃の生活習慣などの結果から、内臓脂肪の蓄積と、高血圧・高血糖・高脂血症・喫煙のリスクの数によって、特定保健指導のレベル設定をするための健診です。

特定保健指導では、それぞれのレベルに応じた生活習慣改善等の指導を行います。

これらは各医療保険者が責任を持って、加入者の皆さんの健康づくりのために行うもので、これまで市町村が中心となって実施してきた基本健診は、40歳以上75歳未満の国保加入者に対しては国民健康保険が、政管健保加入者に対しては政管健保がというように、それぞれの医療保険者が中心となって実施することになりました。

なお75歳以上の方に対しては、後期高齢者医療制度に基づいて実施します。

これまでの基本健診は...

職場の事業所健診
市町村の基本健康診査など

平成20年4月からは...

医療保険者が、加入している被保険者・被扶養者（家族）に実施

医療保険者
○組合健保 ○政府管掌健康保険
○共済組合 ○国保

※ 各種がん検診は、今までどおり市が実施します。

特定健診・特定保健指導が、実施されることになったわけ

増え続ける医療費の多くを占めるのは生活習慣病

➤ 医療費の約5割は、がん、心臓病・脳卒中などの循環器病、糖尿病、及びその合併症（腎臓病など）

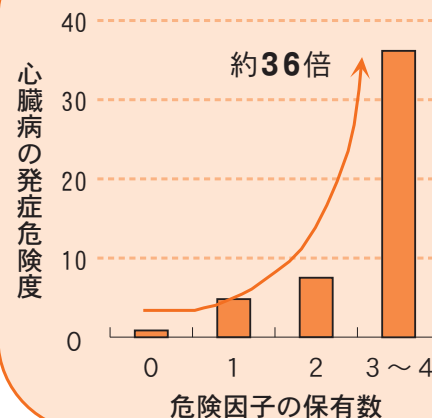
生活習慣病となる危険は危険因子が重なるごとに増大（右図）

➤ 内臓脂肪型肥満（内臓脂肪）に起因した、メタボリックシンドロームが問題（危険因子：肥満、高血糖、脂質異常、高血圧）

メタボリックシンドロームの予防・解消で生活習慣病は効果的に予防できる

➤ メタボリックシンドロームに着目した健診で対象者を選定し、保健指導により、健康的な生活習慣の定着を図る

危険因子が重なるほど...



疾病の早期発見から、予防重視へ

生活スタイルの変化により、肥満・高血圧・高脂血症・動脈硬化などの生活習慣病の有病者、予備群は増加しています。またこれらの病気は、がん、心筋梗塞、脳卒中などの生命に関わる合併症や重い後遺症が残る病気を発症しかねません。

このことから、生活習慣病を発症する前に『予防』することが、生活の質を向上させ、結果として、医療費の伸びの抑制にもつながります。



深刻・・・ハラ事情。
あなたは大丈夫ですか？

あなたもメタボリックシンドローム？

あなたは内臓脂肪型肥満ですか？

腹囲 男性 85cm以上
女性 90cm以上



いいえ

該当項目なし

情報提供
健診結果から今の健康状態を把握し、健康な生活を送るための生活習慣の見直しや、改善のきっかけとなる情報が提供されます。
非該当者だけでなく、全員に実施されます。

動機づけ支援

自分の生活習慣の改善点や実施していく行動などに気づき、自ら目標を設定し、行動にうつすことができるような支援がなされます。

積極的支援

判定の改善に向けて、継続的に実行できるような支援がなされます

健診結果で当てはまる項目がありますか？

高血糖
空腹時血糖：100mg/dl以上
高血圧
収縮期血圧：130mmHg以上かつまたは
拡張期血圧：85mmHg以上
脂質異常
中性脂肪：150mg/dl異常かつまたは
HDLコレステロール：40mg/dl未満

1つ該当

2つ以上該当

市民部 市民生活課 ☎0854-40-1031 健康福祉部 健康推進課 ☎0854-40-1045

このコーナーでは、健康づくりに役立つ情報や身体教育医学研究所うんなんの活動についてお知らせします！

太極拳リズム体操で健康づくり

身体教育医学研究所うんなんでは、市民の皆様の健康づくり支援として、地域の健康教室や市の転倒予防事業などで講義・体操指導を行っています。



今回は、教室の中で、名曲「川の流れるように」に合わせて行っている「太極拳リズム体操」を紹介します。この体操は、ゆつくりとした重心移動が特徴の太極拳の要素を取り

入れており、足腰の筋力と柔軟性、転倒予防に効果的なバランス能力が向上します。動作がゆつくりで安全に行え、音楽に合わせて楽しく体操ができると好評で、子どもから高齢者まで幅広い世代の方々に行っていました。太極拳リズム体操の「効果」、「動作のポイント」、「実施上の注意点」等をわかりやすくまとめた小冊子も作りました。今後はこの冊子を活用し、より多くの方が安全に楽しく実践できるように推進していきます。冊子等に関するお問い合わせは研究所うんなんまでご連絡ください。

身体教育医学研究所うんなん

☎0854-4510300



こんにちは、**保健師**です。 31

皆さんは、自分が1日何歩歩いているかご存知ですか？

8月25日、木次チエリヴァホールで、日本ウォーキング学会会長の泉嗣彦先生（左の写真）による「病気になるないウォーキング」講演会が開催されました。少し内容をご紹介します。

現在、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）と騒がれているような内臓肥満に加えた高血糖、高血圧、脂質異常は、ウォーキングをすることで予防・改善できます。

目標は1日1万歩。しかし、1

プラス1000歩から始める生活改善！

日3千歩という人が、急に1万歩は無理なので、そういう人には、1日千歩多く歩くことを勧めします。「時速0kmで」「歩幅は0cm」などと考えずに、リラックスして楽しみながら歩いてください。この運動に加えて、栄養バランスのよい食生活ができれば、さらに効率よく内臓脂肪が減少し、メタボリックシンドロームを予防・改善できるはずですよ。まずは、自分が今どれくらい歩いているか調べることから始めてみてください。

《ウォーキングの効果》

- ・内臓脂肪を減少させる。
- ・インスリン抵抗性を改善し、血糖を減少させる。
- ・血圧降下作用がある。
- ・血中脂肪を減少させる。
- ・HDL（善玉）コレステロールを増加させる。

健康推進課

☎0854-4011045



シリーズの 私たちのまち 雲南市のまちづくり基本条例

雲南市では、市民参加や行政運営のルールなどの基本的事項を定める条例を制定することにしました。基本条例の内容については、市民の皆さん12人による「まちづくり推進懇話会議」で検討されており、その状況についてお知らせします。今回は、第7回まちづくり推進懇話会議での検討状況を、お知らせします。

8月10日、7回目となるまちづくり推進懇話会議が開催され、前回会議での検討課題について、意見交換が行われました。

「前文」について

・雲南市は「平和を」の都市宣言をしているので、前文にも平和や人権といった文言を盛り込んだ方が良く思う。
・これまでの会議の中でも、「生をまっとうできる社会の構築」など、雲南市に生

まれて良かったという事を強く感じることでできる発言がたくさんあった。「私たちが愛する雲南市」という言葉を盛り込むと分かりやすいと思う。

「市民の定義」について

・雲南市にいる方だけではなく、雲南市に思いを寄せる方々も一緒にまちづくりをしているという思いを盛り込みたい。
・住民投票を盛り込まないならば、市民を定義する必要はないのではないか。
・市民の定義はしない方向で協議をすすめたい。

「参加しない人への自由」について

・参加しないことを理由に不利益を与えてはいけないということは、共通の認識として持つ必要がある。
・自由は認めなければならぬが、みんなが一緒にやりましょうというのがこの条

例の精神であり、参加しない自由を謳う必要はない。

「市民・議会・行政の役割や意識」について

・住民が、議会が、行政が、それぞれに知恵を出して、同じ目標に向かって進む必要がある。
・議員が、基本条例についてのどのような考えをお持ちか知りたい。
・議会は非常に重要な役割を担っているため、議会を盛り込むことは基本だと思いつ

「まちづくりをすすめる上でのお互いの関わり方」について

・まず、市民が主役であることが第一であり、市民が何をやるべきかということがまずあって、それを行政がどう支援していくかということを考える必要がある。
・市民が主役になれる仕組み（例えば情報の共有など）を考えていく必要がある。

・協働の「協」はサイドをなくすことであると思う。行政側、住民側、その「側」をなくしていくということであり、協働とは、同じ目的に向かって、協力して働くということだと思つ。
・はじめは自助であり、おわりも自助である。そして、協働は自助からはじまるのであれば、受益者負担の原則でしかない。つまり、自分たちのことは自分たちでやりましょうということである。

会議の内容は「市報うんなん」や「市ホームページ」で随時お知らせすることとしておりますので、基本条例やまちづくりに関し、自由なご意見をお聞かせください。
なお、会議は公開しておりますので、ご覧になりたい方は、事前にご連絡ください。

政策企画部政策推進課

☎0854-4011011

広 告 枠

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。

雲南市からのお知らせ

物品・庁舎維持管理等業務
入札参加資格審査の実施

管財課
☎0854-40-1025

平成20・21年度の入札参加資格審査申請を、次の通り受け付けます。

詳細については、総務部管財課にお問い合わせください。か、12月1日以降に雲南市ホームページをご覧ください。

【受付期間】
平成20年1月4日（金）

午前9時～午後5時

平成20年1月31日（木）

【受付業種】

● 物品の売買及び借入れ
● 庁舎維持管理等業務

【有効期間】

平成20年4月1日～平成22年3月31日

【受付場所】

雲南市役所総務部管財課

【お詫びと訂正】

● 市報うんなん9月号の記載内容に誤りがありましたので、お詫びして訂正します。

3ページ、雲南市成人式 1行目
(誤) 成人式は昭和61年度生まれ…(正) 昭和62年度

行政相談所を開設

総務課
☎0854-40-1021

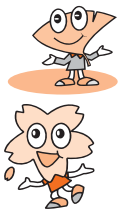
行政相談制度は、国の役所の仕事などについて、苦情その他の相談や意見・要望を受け付け、公正・中立の立場から必要なあっせんを行い、その解決を促進するとともに、これを行政運営の改善に役立てるものです。

行政相談制度について、理解を深め、その利用を促進するために、毎年10月に「行政相談週間」を設けています。今年度は10月15日（月）～21日（日）の1週間です。

この週間に合わせて、次のとおり各地区で行政相談委員による行政相談所を開設しますので、お気軽にお出掛けになってご相談ください。相談は無料で、秘密は固く守られます。

地区	開設日	開設場所	行政相談委員
大東	10月10日（水）10:00～15:00	大東町地域福祉センター	落合 昭治
加茂	10月17日（水）9:00～11:00	加茂総合センター	黒田 徳郎
木次	10月16日（火）9:00～15:00	木次総合センター	渡部多加子
三刀屋	10月18日（木）9:00～12:00	三刀屋総合センター	高尾 正治
吉田	10月19日（金）9:00～12:00	吉田農村環境改善センター	大島二三恵
掛合	10月10日（水）13:00～15:00	掛合町好老センター	山中満寿夫

(敬称略)



年金相談所開設

市民生活課
☎0854-40-1031

松江社会保険事務所による年金相談所が次の日程で開設されます。厚生年金、国民年金のことで相談したい方はお気軽にご利用ください。

また、事前に連絡されると厚生年金受給手続き等も受け付けますので、ご希望の方は松江社会保険事務所までご連絡ください。

【日時】

10月18日（木）

午前10時～12時、午後1時～3時

【会場】

木次総合センター

【持参品】

夫婦の年金手帳、年金証書、職歴書、印鑑 など

※代理の方の場合は委任状が必要です。

【問い合わせ】

松江社会保険事務所

☎0852-26-2800



国保被保険者証(保険証)
10月1日更新

市民生活課
☎0854-40-1031

10月1日から国民健康保険被保険者証(保険証)が更新されます。世帯ごとに保険証を配達記録郵便で9月20日に発送しています。雲南市国民健康保険に加入の方で、まだ保険者証が届いていない方は市役所市民生活課にご確認ください。

今回の保険証の色は、一般被保険者分は「オレンジ色」、

退職被保険者分は「ピンク色」です。10月1日以降医療機関にかかられる方はこの新しい保険証をお使いください。

旧保険証については、各自で処分していただくようお願いいたします。

なお、平成20年4月1日から保険証を個人ごとのカードに切り替えるため、今回更新の保険証の有効期限は平成20年3月31日としています。3月下旬に新しい個人カードの保険証を世帯ごとに送付しますのでご承知置きください。

国民健康保険料の滞納がある方は納付してください

収納管理課
☎0854-40-1035

国民健康保険料の期限内納付は、健全な国保運営に欠かせません。特別な理由(災害・盗難、病気・負傷、事業の休止、事業の著しい損失等)なく滞納されると未納期間に応じた措置をとることとなります。

次の方は、早急に保険料の納付をお願いします。

短期被保険者証の交付の措置

保険料を6ヶ月以上滞納している方については、更新時に有効期限が3ヶ月の保険者証(短期被保険者証)を送付しています。

資格証明書の交付の措置

保険料を12ヶ月以上滞納している方については、医療を受けられる際に医療機関でいったん10割を支払わなければならない資格証明書が更新時に送付されています。

乳幼児等医療費受給資格証(3歳以上就学前)の更新手続き

市民生活課
☎0854-40-1031

現在お持ちの乳幼児等医療費受給資格証(3歳以上就学前)の有効期限は、平成19年11月30日です。

この更新申請の手続きを10月に行います。対象となる方につきましては、あらかじめ申請書を送付いたしますので手続きをお願いします。申請手続きはお近くの総合センター自治振興課、または本庁市民生活課で行ってください。

なお、平成19年7月1日から平成19年11月30日までの間にを行った申請により受給資格証の新規交付を受けた方については、更新申請は必要ありません。受給期間を更新した受給資格証を11月末に送付します。

また、3歳未満のお子様の乳幼児等医療受給資格証については、更新申請の必要はありません。

国民健康保険料(第7期分)

市民税・県民税(第3期分)

納期限は10月31日(水)

広告枠

広告枠

学社連携・融合による
教育活動の推進



丸の内通信 第3号
文部科学省 生涯学習政策局
社会教育課
石飛 智香

今月は、文部科学省で派遣研修している職員から届いた近況報告をお伝えします。今年の4月から文部科学省で研修をさせていたお友だちです。今回、教育行政の最高機関である文部科学省で研修する機会をいただき、とても感謝しています。ありがとうございます。

私は現在、生涯学習政策局社会教育課の「地域学習活動推進室」に配属されています。ここでは、主に公民館全般に係る業務を担当しています。また、今年度は「学校支援を通じて地域の連帯感形成のための特別調査研究」という事業を担当し、地域の力で学校を支援していくための人づくり・体制づくりを実践している自治体の調査研究をしています。雲南市が進めている「ふるさと雲南キラキラ未来プロジェクト」もその一つです。

文部科学省へ来て、まず自分の中で考えさせられたことは、仕事に対する心がまえについてです。行政に携わって3年、「一つの仕事（業務）」に対してどれだけ真剣に先を見据えて、相手の立場に立って取り組んでいたのか？目の前の業務をただこなすだけだったのではないかと。文部科学省では常に、見解や今後の見通しを考えながら仕事を進めていかなければなりませんし、自分の一言が国の回答として扱われるという重大な責任があります。本来、市町村であっても同じ心がまえで取り組まなければならぬということに気がつかれました。



平成19年度「犬のしつけ方教室」参加者募集について

環境対策課

☎0854-40-1033

犬のしつけ方等について講師をお招きして講習会を次の通り開催します。対象は1歳前後の犬で希望者となります。犬の飼育についてお困りの方は、ぜひご参加ください。ご家族での参加も可能です。

【日時】
10月28日（日）
午後1時30分～
午後3時30分

【場所】
大東ドーム

【内容】
・獣医師
「犬の主な病気について」
・トリマー
「犬の手入れについて」

・訓練士
「基本的な訓練、しつけ方の実践」

【定員】
先着20頭（犬の頭数で締め切ります）

【応募方法】
環境対策課に直接または電話でお申し込みください。

新潟県中越沖地震
義援金のお礼

健康福祉総務課

☎0854-40-11041

本年7月に発生した新潟県中越沖地震に対する義援金の募集を行った結果、市及び市社協窓口の募金箱や事業所の従業員の皆さんに、左記の募金額をお寄せいただきました。寄せられた募金は、日赤を通じて、被災者の支援に役立てられています。ありがとうございます。

●募金額
115万7,937円

定期巡回児童相談

健康推進課

☎0854-40-11046

次のおり巡回児童相談を行います。

【日時】
10月17日（水）
午前10時～午後4時

※受付は午後3時まで

【場所】

吉田健康福祉センター

【申し込み】

健康推進課 または
出雲児童相談所

☎0853-21-0007

児童の進学に係る母子
寡婦福祉資金の貸付

子育て支援課

☎0854-40-11044

島根県では、母子家庭及び寡婦のみなさんを対象に、平成20年4月から新たに進学等をされるお子さんの就学費用に係る資金の貸し付け予約を受け付けています。

【資金の種類】

【就学資金】
高校・高専・専修学校・短大・大学の授業料など就学費用

【就業資金】
知識技能を修得するのに必要な経費

【就学支度資金】
入学金・制服など就学等の準備に要する費用

※貸付はいつでも無利子で、連帯保証人1名が必要です。

【予約申込期限】

1次Ⅱ平成19年11月30日

2次Ⅱ平成20年1月31日

【問い合わせ】

子育て支援課 または
島根県青少年家庭課

母子福祉グループ

☎0852-22-6688

出前ジョブカフェ開催

商工観光課

☎0854-40-1054

34歳位までの就職・転職希望者や、その保護者を対象にキャリアカウンセリングによるカウンセリングや就職に役立つミニセミナーを実施します。参加は無料です。ミニセミナー、カウンセリングのどちらか一方の参加も可能です。

【日時】
毎月第2、第4火曜日

ミニセミナー
午前10時～12時



「みんなが主役 省エネでつくる環境のまち」
実践にご協力ください～その⑮～

市民部環境対策課 ☎0854-40-1033

★ゴミまで買っていないませんか？ 買い物をする時、必ずといっていいほどついてくる包装材。結局捨ててしまうことの多いこれらを作るためにも、エネルギーは使われています。

例えば、レジ袋の消費量は約315枚/年・世帯ですが、原油にすると約13.5リットルも生産エネルギーが使われています。

ここで、レジ袋の代わりに「マイバック」の登場です。お店によってはポイントを貯めて特典があるところもあります。

ちょっと気にかけることでできる購入の省エネを実践しましょう。

広 告 枠

広 告 枠

Hello Everyone うん、なんでしょ?

国際交流員(CIR)の迷言コーナー



こんにちは！ヒメネです。
今月のテーマは英語・外国語です。

日本では小学校で英語を勉強することが増えていますね。ある人は、これはだめなことと言います。「もし子どもたちが外国語を勉強したら母国語を忘れてしまう、下手になる!」というような議論があります。本当でしょうか?ヨーロッパでは85%の学生が外国語として英語を学びます。2つか3つの言語をしゃべるのが普通ですが、ヨーロッパ人はバカではないと思います(笑)。

私の通った小学校は私立学校で、特別な外国語授業がありました。小学2年生から高校卒業までずっとスペイン語を学びました。フランス語やドイツ語やラテン語もやってみました。それで、私の母国語能力は下がりましたか?違います。むしろ上がったと思います。現在、私は4つの言語をしゃべります。島根県内の外国人の雑誌を編集していて、皆さんのスピーチなどをよく英語に直しています。色々な研究によると、子どもが外国語を話せたら、母国語能力も高くなるそうです。アメリカでは、学生の試験成績点を見るとバイリンガル(2国語話者)の学生の方が良い成績を取ります。

ある日本人は英語が欧米の言語ですので、日本人とあわないと思っているそうです。学校訪問のとき子どもが英語を上手に話したら、他の学生は「欧米か?」と芸能人の有名なフレーズでふざけます。英

語は欧米のことでしょうか?アフリカのナイジェリアやケニア、中米のベリーズ、アジアのシンガポールやフィリピンなども英語が公用語です。私は欧米人の顔ではありませんが、欧米の人の英語の作文を直したりもします。(笑)

なぜ私は4つの言語を勉強しましたか?将来の仕事のためではなく、経済的な理由でもなく、能力アップのためでもありません。正解は言語を勉強することは楽しいからです。楽しかったので、私は中学生のとき独学で日本語の勉強をはじめました。12年後、私は日本で働いています。ずっと日本に住もうとは思っていませんが、この経験はすごく大事なことです。

私は国際理解を習って、帰国したら他のアメリカ人に日本の文化を伝えることができます。他の文化圏の友達も作りました。そのことはかけがえのないことです。国際関係を作ることは政府の仕事だけではないと思います。子どもたちは英語を学びますが、英語だけではなくて、韓国語や中国語やフランス語を勉強することも大切だと思います。今も私は外国語を勉強中です。もっともっと日本語を勉強します。両親の母国語フィリピン語も勉強します。一緒に頑張りましょう!



国からのお知らせ

無料法律相談

雲南簡易裁判所で、次のとおり弁護士による無料法律相談を行います。

【日時】

10月26日(金)

午前10時~午後3時

※受付は午前9時30分から

午後2時30分まで

【相談内容】

土地、建物、金銭の貸借、
公害、交通事故、夫婦親子、
相続及び少年非行等の問題

【問い合わせ】

雲南簡易裁判所
☎0854-42-0275

終戦当時の引揚者の方々へ

税関では、終戦後、外地から引揚げてこられた方が、上陸港の税関、海運局に預けられた通貨・証券などをお返ししています。

返還の申し出は、ご本人ばかりでなく、ご家族の方でも結構です。心あたりがある方は、境税関支署(☎0859-42-2228)へお問い合わせください。

雲南市人権センター 運営審議会開催

雲南市人権センター
☎0854-42-1767
7月30日、雲南市人権センターで、雲南市人権センター運営審議会が開催されました。13人の審議会委員が出席され、次の議題が了承されました。
①平成18年度事業実施状況
②平成19年度事業概要

人権・同和問題啓発 ビデオの寄付と活用

雲南市人権センター
☎0854-42-1767
「釈迦内枢唄」公演実行委員会(吾郷廣幸市人権・同和教育推進協議会会長)から、人権・同和問題啓発ビデオをご寄付いただきました。6月24日、加茂町ラメールで開催された公演の剰余金で購入されたものです。ありがとうございます。
今後、人権センターでは、教育・啓発活動に役立てるため、このビデオの貸し出しを行います。ご希望の方は人権センターにご連絡ください。

雲南市男女共同参画 推進委員の紹介

雲南市人権センター
☎0854-42-1767
市では、次のみなさんに雲南市男女共同参画推進委員及びオブザーバーを委嘱(平成19年7月25日~平成21年3月31日)しています。
この委員のみなさんとともに人権センターでは男女共同参画計画と10か条市民宣言を基に啓発運動を展開しています。

会長	吾郷 康子
副会長	大島 久光
委員	石田 美幸
	猪野 郁子
	内田 英子
	加納 佳子
	小林 和彦
	齊藤 佐恵子
	品川 宣子
	陶山 清男
	谷戸 仁子
	塚本 祐次
	枋谷 治
	光谷 由紀子
	吉長 雅昭
オブザーバー	永瀬 豊美
	小川 洋子
	落合 ひろみ

(敬称略・順不同)

ビー玉の街プロジェクト

雲南市出身のイラストレーター毛利フジオ氏の作品を中心に、原画展示・講演会・イラスト教室を開催いたします。毛利氏の作品は、いまブームの昭和30年代をテーマとされており、代表作「ビー玉の街」は昭和30年代の商店街が描かれています。また、毛利氏の作品をコレクションとして愛蔵されており、テレビ「開運!なんでも鑑定団」で鑑定士として活躍されている北原照久氏の講演会や、毛利氏に直接指導が受けられるイラスト教室を開催いたします。



『昭和の子ども』

■原画展: 10月14日(日)~10月28日(日)

雲南市立加茂図書館
開館時間10:00~18:00(木曜日は休館)
入場無料

■講演会: 10月21日(日)14:00~16:00

加茂文化ホール ラメール
入場料 大人1,000円 中学生以下無料
(入場整理券が必要です)
※加茂弥生まつりと同時開催

■イラスト教室:

◎三刀屋会場 10月27日(土)10:00~12:00
14:00~16:00
三刀屋文化体育館アスパル
◎加茂会場 10月28日(日)10:00~12:00
加茂公民館



毛利フジオ氏

問い合わせ: ビー玉の街プロジェクト実行委員会(加茂町商工会館内) ☎0854-49-7227

広 告 枠

広 告 枠

子育て支援センター
などのスケジュール

だいたう	子育てサロン 9:30~	木馬 おおぎ 毎週火・木曜日 ぼかぼかひろば 幡屋公民館 1日(月) うしお 桂荘 12日(金)
	保育園 開放日	大保 3日、10日、17日、24日、31日(水) かもめ 5日、12日、19日、26日(金) あおぞら 5日、12日、19日、26日(金)
かもち	地域サークル 9:30~	幡屋公民館 15日(月)、春殖公民館 17日(水)、 佐世公民館 18日(木)、おおぎ 19日(金)
	教室・相談 あおぞら	子育て教室 4日(木) 9:30~11:30 赤ちゃん教室 9日(火) 9:30~11:30 子育て相談 12日、26日(金) 10:00~17:00
きすき	子育て サロン 10:00~	つくしっ子広場 かも 毎週水曜日 3日、10日(運動会)※びつつくしっ子合同、24日、31日(誕生日) ぶちつくしっ子広場 かもてらす 第4金曜日 26日(フリースペース)
	支援センター かも 10:00~	おはなしのへや 1日(月) りんごちゃん広場 (0~1才半まで) 15日(月) れもんちゃん広場 (1才半以上) 19日(金) 子育てママのリフレッシュタイム(要予約) 22日(月) ミュージックケア(2歳以上、要予約、親子20組) 5日(金) 誕生会 11日(木) 消防署見学(要予約) 12日(金) ハロウィンパーティー~国際交流員とともに~ (要予約、親子25組) 23日(火) 劇団の人形劇「うさぎとかめ」(要予約) 30日(火) 同級生集いの日 うさぎちゃん 2日(火)、 りすちゃん 9日(火)、ひよこちゃん 16日(火)
みとや	出前保育 教室・相談 きすき	日登公民館 17日(水) 10:00~12:00 臨床心理士相談日(要予約) 3日(水) ベビーマッサージ(要予約、親子20組) 16日(火)
	社協子育て サロン	西日登公民館 10日(水) 10:00~ 高齢者コミュニティセンター 24日(水) 10:00~
よしだ	支援センター みとや	プレママ(妊婦)と子育てママの育児相談 5日(金) 9:30~ あそぼう広場(運動遊びをしよう!) 12日(金) 10:00~ 親子遠足(大東町・丸子山公園) 17日(水) 10:00~ 赤ちゃん広場(子育てビデオ鑑賞) 26日(金) 10:00~
	保育園 開放日	よしだ・たい 4日(木)、20日(土) 9:30~
かけや	子育て サロン	あいふあいらぶ 吉田健康福祉C 10日(木) 9:30~
	保育園開放日 夢の子	3日(水)、17日(水)、31日(水) 17日は昼食試食会(要予約)
か	教室・相談	子育て相談 夢の子 3日(水) 人形劇鑑賞会「うさぎとかめ」 夢の子 31日(水)
	子育て サロン	ゴーゴー★サロン 好老センター 4日(木)、18日(木) 9:30~11:30 地域交流会「秋を満喫しよう」 渡多公民館 10日(木) 10:00~12:00 救命講習会 掛合公民館 24日(水) 10:00~12:00

大東保育園 ☎43-6132 : 大保、かもめ保育園 ☎43-3010 : かもめ、あおぞら保育園(大東子育て支援センター) ☎43-9500 : あおぞら、地域福祉センターおおぎ ☎43-5610 : おおぎ、大東農村改善センター桂荘 ☎43-2414 : 桂荘、加茂子育て支援センター ☎49-6723 : かも、木次町子育て支援センター ☎42-2030 : きすき、社会福祉協議会木次支部 ☎42-9080、社会福祉協議会三刀屋支部 ☎45-3659、三刀屋子育て支援センター(三刀屋健康福祉センター内) ☎45-9501 : みとや、吉田保育所 ☎74-0330 : よしだ、田井保育所 ☎75-0201 : たい、かけや夢の子園 ☎62-9900 : 夢の子 Cはセンター、市外局番はいずれも0854

図書館だより

雲南市立大東図書館 ☎0854-43-6131
10月の休館日 毎週金曜日、8日(祝)、31日【図書整理日】

イベント案内 こぐまちゃんくらぶ 毎週月曜日 11:00~ わらべうた遊びなど 10月13日(土) おはなしたまごのお話の会(おはなしたまご自主企画)

新着の本(抄) ▼宮部みゆき「菜園(上・下)」▼藤田宜永「戦外外通告」▼澤田ふじ子「土御門家陰陽事件簿 逆襲」▼重松清「青い鳥」▼群ようこ「小美代姐さん愛縁奇縁」▼諸田玲子「かつてまま」▼恩田陸「木洩れ日に泳ぐ魚」▼市川拓司「ぼくの手はきみのために」▼瀬戸内寂聴「寂聴おはなし絵本 月のうさぎ」▼ブックトーク研究会編「授業が生きるブックトーク すべての教科で本との出会いを」▼山陰中央新報社「世界が求めた輝き 石見銀山写真集」▼花咲一男「大江戸ものしり図鑑」▼小田実「中流の復興」▼NHKスペシャル「ワーキングプア」取材班編「ワーキングプア 日本を蝕む病」▼飯倉晴武「日本人数のしきたり」▼山崎典子「元気な子どもの野菜レシピ」▼ワン・ライン「出雲そば街道 出雲・石見・隠岐・伯耆国のそば屋めぐり」▼現代農業増刊「いま、米と田んぼが面白い」▼水越美奈「なるほど! 犬の心理と行動」 ほか

雲南市立木次図書館 ☎0854-42-1021
10月の休館日 毎週月曜日、9日(火・祝日振替)、31日【図書整理日】

イベント案内 「よみかたりのじかん」 毎週木曜日 15:30~

新着の本(抄) ▼宮部みゆき「菜園(上)(下)」▼宮本輝「花の回廊」▼内田康夫「幻香」▼柴田よしき「朝顔はまだ咲かない」▼金城一城「映画篇」▼小池昌代「夕外」▼高橋克彦「文明怪化」▼恩田陸「木洩れ日に泳ぐ魚」▼堺屋太一「世界を創った男チンギス・ハン(1)(2)」▼石田衣良ほか「オナナの片思い」▼古川日出男「ハル、ハル、ハル」▼永井すみ「ドロップス」▼諏訪哲史「アサテの人」▼曾根圭介「沈底魚」▼麻生幾「エスピオナーズ」▼赤川次郎「疫病神も神のうち」▼荻原浩「サニーサイドエッグ」▼山口治子「瞳さんと」▼小川洋子「博士の本棚」▼城山三郎「嬉しうて、そして…」▼加藤仁「宿澤広明 運を支配した男」▼平井工「成功事例が教える一人でできる個人発明で儲ける方法」▼大城築「食べて健康! よもぎパワー」▼小関鈴子「花のパターンでパッチワーク・レッスン」▼鎌田實「鎌田實のしあわせ介護」▼宮田隆「老けない人は歯がちがう」▼照本公子「作って遊ぶ! 魅惑の万華鏡」▼NHK取材班「ひとり誰にも看取られず」▼西原理恵子「毎日かあさん(4)」▼いしかわまりこ「かんたん! かわいい! 0・1・2 歳児の布おもちゃ&布えほん」

雲南市立加茂図書館 ☎0854-49-8739
10月の休館日 毎週木曜日、8日(祝)、31日【図書整理日】

司書がおすすめ! 読み語りにこんな本どうですか?
読み語りで実際に使った本をご紹介します。対象は小学生ですが、本によってはその限りではありません。ぜひ一度手にとってみてください。



『鬼の首引き』
岩城範枝 作 井上洋介 絵 福音館書店 刊
力持ちの若者が都に上る途中、鬼につかまりその娘の「お食い初め」にされそうになりました。そこで鬼の娘と力比べをすることにしました。食べられる前に逃げ出すことが出来るでしょうか。恐ろしいはずの鬼の親子と若者のやり取りに、思わず微笑んでしまいます。

『ライオンのながいいちにち』
あべ弘士 作 佼成出版社 刊

ライオンの父さんが子どもたちをつれて散歩に行きました。のんびり散歩をたのしむライオンの家族とサバンナの風景がとてものどかです。ライオン父さんの俳句も要注目! です。



宝くじふるさとわくわく劇場

平成19年 11/25(日) 開場 13:00 開演 14:00

三刀屋文化体育館アスパル 入場料2,000円(当日2,500円)

入場券はお近くの総合センターでも取り扱っています。詳しくはチラシ・ポスターをご覧ください。

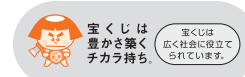
問い合わせ: 三刀屋文化体育館アスパル (0854-45-9222) ・加茂文化ホールラメール (0854-49-8500)

出演者募集中!!

第3部「ほのぼののこメディ劇場」への出演希望者を募集します。

出演希望の方は、住所・氏名(フリガナ)、性別、年齢、電話番号を明記し、三刀屋文化体育館アスパル「オーディション係」へ申し込み用紙かFAX(0854-45-9223)でご応募ください。年齢性別など一切制限はありません。

応募締切 10/26(金) 公開オーディション 11/11(日) 14:00~ : アスパル小ホール



ふるさとまつり

第25回 掛合町ふるさとまつり

とき 10月7日(日) 9:00~
ところ 掛合中学校グラウンドほか
内容 「むかで駅伝2007」、掛合音頭やかけや太鼓など各種ステージイベント、掛合名店街
【問】まつり実行委員会事務局 (掛合総合センター自治振興課内) ☎0854-62-0330

第25回 大東よいとご祭

とき 10月20日(土)、21日(日)
ところ 悠々広場、大東ドームほか
内容 ステージイベント、テント村、文化展ほか
【問】まつり実行委員会事務局 (大東総合センター自治振興課内) ☎0854-43-8168

第4回 銅鐸の響き加茂弥生まつり

とき 10月21日(日) 9:30~
ところ 加茂文化ホールラメール広場
内容 古代村が出現!そして火柱点火!!その荒々しくも幻想的な炎に圧倒!!
【問】まつり実行委員会事務局 (加茂総合センター自治振興課内) ☎0854-49-8601

第28回 みとやこまつり

とき 10月28日(日)
ところ 雲南市商工会館周辺
内容 梅が香音頭おどり、ステージイベントほか
【問】まつり実行委員会事務局 (三刀屋総合センター自治振興課内) ☎0854-45-2111

第3回 ななかまどフェスタ

とき 10月28日(日) 9:00~
ところ 吉田総合センターほか
内容 文化、産業、各種展示、ステージショー、各種テント村ほか
【問】フェスタ実行委員会事務局 (吉田総合センター自治振興課内) ☎0854-74-0211

第25回 きすきがっしょ祭り

とき 11月4日(日) 10:00~
ところ 木次青少年ホーム駐車場周辺
内容 文化展、福祉展、菊花展、ステージイベント、各種テント村ほか
【問】祭り実行委員会事務局 (木次総合センター自治振興課内) ☎0854-40-1080

広告枠

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。

市民カレンダー



問い合わせ (市外局番は0854)

各種健診に関すること

健康福祉部健康推進課
☎40-1045
大東健康福祉センター
☎43-6142
加茂健康福祉センターかもてらす
☎49-8612
木次健康福祉センター
☎40-1083
三刀屋健康福祉センター
☎45-9501
吉田健康福祉センター
☎74-0215
掛合健康福祉センター/好老センター
☎62-0056
まめなかセンター ☎62-0231
島根県雲南保健所 ☎42-9642

イベント・その他

雲南市議会事務局 ☎40-1004
大東公園市民体育館
☎43-5511
大東農村改善センター『桂荘』
☎43-2414
雲南市加茂文化ホール・ラメール
☎49-8500
加茂B&G海洋センター
☎49-7100
雲南市木次体育館 ☎42-0375
木次経済文化会館チエリヴァホール
☎42-1155
三刀屋文化体育館アスバル
☎45-9222
吉田勤労者体育センター
☎74-0211
吉田公民館 ☎74-0219
吉田町田井公民館 ☎75-0312
雲南市掛合体育館 ☎62-0013
掛合町まめなかセンター
☎62-0231

開催場所

- 大…大東町
- 加…加茂町
- 木…木次町
- 三…三刀屋町
- 吉…吉田町
- 掛…掛合町
- 他…その他

日	月	火
	1	2
7	8	9
14	15	16
21	22	23
28	29	30

結核検診
加断酒会
(かもてらす 19:00~21:00)

結核検診
加雲南市戦没者追悼式
(ラメール 14:00~15:00)

結核検診
加断酒会
(かもてらす 19:00~21:00)

結核検診
加雲南市戦没者追悼式
(ラメール 14:00~15:00)

結核検診
加断酒会
(かもてらす 19:00~21:00)

結核検診
加雲南市戦没者追悼式
(ラメール 14:00~15:00)

結核検診
加断酒会
(かもてらす 19:00~21:00)

結核検診
加雲南市戦没者追悼式
(ラメール 14:00~15:00)

結核検診
加断酒会
(かもてらす 19:00~21:00)

結核検診
加雲南市戦没者追悼式
(ラメール 14:00~15:00)

結核検診
加断酒会
(かもてらす 19:00~21:00)

結核検診
加雲南市戦没者追悼式
(ラメール 14:00~15:00)



SPコードとは
音声読み上げ用の
2次元コードです。
このコードを専用
装置で読み取るこ
とで、記録されて
いる情報を音声に
変換することができます。

文化講演会

講師：小山明子さん
演題：「二人三脚で乗り越えた介護の日々」
日時：11月10日(土) 13:00 開場
会場：木次町チエリヴァホール
※入場無料(整理券が必要です)
問い合わせ：社団法人雲南法人会
☎0854-45-2405

子育て講座

内容	最近の子どもとのかかわり	子どもの心と生活習慣
日時	10月7日(日) 13:00~15:00	12月4日(火) 19:00~21:00
会場	あすてらす(大田市)	いきいきプラザしまね(松江市)
講師	原田 豊氏 鳥取県立精神保健福祉センター所長	肥後 功一氏 島根大学教育学部副学部長

※1講座700円の参加費が必要です。
問い合わせ：NPO法人チャイルドラインしまね ☎0852-66-0444

水	木	金	土
3	4	5	6
10	11	12	13
17	18	19	20
24	25	26	27

結核検診
加断酒会
(三刀屋健康福祉センター 受付 13:15~)

結核検診
加断酒会
(三刀屋健康福祉センター 受付 13:15~)

結核検診
加断酒会
(三刀屋健康福祉センター 受付 13:15~)

結核検診
加断酒会
(三刀屋健康福祉センター 受付 13:15~)

結核検診
加断酒会
(三刀屋健康福祉センター 受付 13:15~)

結核検診
加断酒会
(三刀屋健康福祉センター 受付 13:15~)

結核検診
加断酒会
(三刀屋健康福祉センター 受付 13:15~)

結核検診
加断酒会
(三刀屋健康福祉センター 受付 13:15~)

結核検診
加断酒会
(三刀屋健康福祉センター 受付 13:15~)

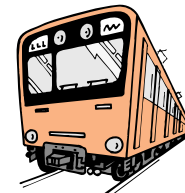
結核検診
加断酒会
(三刀屋健康福祉センター 受付 13:15~)

結核検診
加断酒会
(三刀屋健康福祉センター 受付 13:15~)

結核検診
加断酒会
(三刀屋健康福祉センター 受付 13:15~)

雲南市出雲大東駅 改築オープン

この度、雲南市出雲大東駅の整備が終了し、10月1日に新しい駅がオープンします。
新しい駅では、指定管理者によりJR乗車券及び市民バス回数券の販売や新たに農特産品の販売を行うほか、大東駅前簡易郵便局の事務所が移転営業されます。また、駅の隣には農業生産資材等の販売をされるJAGグリーンセンターも移転営業されます。



SPコードとは
音声読み上げ用の
2次元コードです。
このコードを専用
装置で読み取るこ
とで、記録されて
いる情報を音声に
変換することができます。

うん、何？

UN-NAN

映画

いよいよ公開！！

今年春、撮影を終了した映画「うん、何？」がいよいよ完成！雲南市での先行上映のスケジュールが下記のとおり決まりました！雲南市内オールロケ、「日本のふるさと発」の映画を存分にお楽しみください。
(上映時間は約2時間です。)

☆雲南市内先行 プレミア上映会 開催日程☆

期 日	場 所	上映開始時刻
11月23日(祝)	木次町チェリヴァホール	①14:00～ ②18:30～
24日(土)	掛合町掛合体育館	18:30～
25日(日)	吉田町生涯学習交流館	18:30～
12月1日(土)	大東町大東体育館	18:30～
21日(金)	加茂町ラメール	18:30～
22日(土)	三刀屋町アスパル	18:30～
23日(祝)	木次町チェリヴァホール	①14:00～ ②18:30～

※鑑賞の際には制作協力券(1,200円)が必要です。事前にご購入をお願いします(大人、子供(小学生以上)とも同額です)。
※制作協力券は木次チェリヴァホール(電話:0854-42-1155)のほか、加茂ラメール、三刀屋アスパル、大東体育館、市役所各総合センター、JA雲南各支店、雲南市商工観光課などで販売しています。
問い合わせ 雲南映像プロジェクト実行委員会(雲南市商工観光課) ☎0854-40-1054

編 集 後 記

9月3日～7日の5日間、インターシップ研修生として情報政策課と国際交流室にお世話になりました。初めてのことで戸惑うことばかりでしたが、なんとか無事に終えることができました。
研修中は実際に市内中をまわり、さまざまなイベントの取材を行いました。市報が出来上がるまでの苦労を身をもって体験できました。この経験を今後の就職活動や就職後も生かしていきたいと思っています。本当にお世話になりました。
安部 洋一(大東町)

インターシップ(職業体験)の学生を受け入れました。1週間の研修期間ごとの程度のことをするのがよいのか、こちらも初めてで戸惑いました。お互いに悩みながら、あつという間に時間が過ぎました。周りに気を使いながら写真撮る姿や原稿書きに頭を悩ます姿を見て、あれこれ話をして、私自身もとても勉強になりました。
「読みやすく、丁寧に」と心がけていますが、間違いがあります。「正確な情報を」という点にも気をつけて、安心感のある市報づくりにこれからも精進します。
③



季節ごよみ 実りの秋
9月9日、奥出雲葡萄園のシャルドネ収穫祭に参加しました。シャルドネはワインの原料としてはポピュラーな品種。この日摘みとった3トンのブドウから、およそ3,000本のワインができるそうです。

・市報うんなんは、お近くの総合センターや公民館にもあります。
・市報うんなんに対するご意見、ご感想はこちらまで!

政策企画部 情報政策課
unnan-city@city.unnan.shimane.jp

人口 44,850人 男性・21,637人
世帯数 13,616世帯 女性・23,213人
(平成19年9月1日現在)